



笹川杯争奪第12回全九州少年少女空手道選手権大会 兼 日本生命杯全日本少年少女空手道選抜大会 九州地区予選会

- 大会名 笹川杯争奪 第12回全九州少年少女空手道選手権大会 兼
日本生命杯全日本少年少女空手道選抜大会 九州地区予選会
- 主催 (一社) 全日本空手道連盟九州地区協議会
- 共催 (一社) 福岡県空手道連盟・(一社) 長崎県空手道連盟・(一社) 佐賀県空手道連盟・
(一社) 熊本県空手道連盟・(一社) 大分県空手道連盟・(一社) 宮崎県空手道連盟
(一社) 鹿児島県空手道連盟
- 後援 公益財団法人全日本空手道連盟 那覇市 沖縄県教育委員会 那覇市教育委員会
公財) 沖縄県スポーツ協会 NHK おきなわ放送局 沖縄テレビ 琉球放送 琉球朝日放送
沖縄タイムス社 琉球新報社 (以上予定)
- 主管 一般社団法人 沖縄県空手道連盟
- 場所 沖縄県立武道館 沖縄県那覇市奥武山町5-2 TEL 098-858-2700
- 日時 令和7年11月8日(土)～9日(日)

8日【1日目】	9日【2日目】
選手受付 08:30～	選手受付 前日行う
審判会議 08:30～ 監督会議 09:00～	審判会議 08:30～ 競技開始 9:00～
開会式 10:00～ 競技開始 10:30～	個人組手(予選～準々決勝)、(準決勝 決勝)
個人形(予選～決勝) 16時終了予定	組手表彰式(都度)
形表彰式(都度)	閉会式 14:00～

- 種目 個人形・個人組手：小学1～6年生の男子・女子
- 参加人数 学年別、個人戦は男女別それぞれ4名を各県代表選手とする。登録選手の変更は認めない。参加人数は監督・コーチを含め次表のとおりとする。なお、同一選手の形、組手の両方の出場を認める。地元開催枠を各種目2名の出場を認める。但し、地元枠選手の九州地区協議会議長杯ポイントは除外する。

※第25回全日本少年少女空手道選手権大会にて上位3位以内は、特別枠として出場を認める。

各県	形競技					組手競技		
選手	男子	個人	小1～6	各4名	計24名(地元枠2名)	小1～6	各4名	計24名(地元枠2名)
	女子	個人	小1～6	各4名	計24名(地元枠2名)	小1～6	各4名	計24名(地元枠2名)
監督	1名							
コーチ	7名以内(内1名は練習会場担当者とする)							
総人数	103名+地元枠(48名)+特別枠							

10. 競技規定

1) 競技は、令和6年度 公益財団法人全日本空手道連盟〈空手競技規定〉により行う。

2) 形競技 個人戦

形競技は1～3ラウンドによるプール方式にて行う。第1ラウンドは4グループとし、各グループ上位4(計16名)が第2ラウンド進出。第3ラウンド(決勝ラウンド)は第2ラウンド各グループ上位4名、8名により行う。

(ア) 全競技得点方式で行う。第1、第2ラウンドは審判5名で、2名同時に行い、決勝ラウンドは審判7

名で1名ずつ演武する。

(イ) 第1ラウンドは、基本形とする。

(ウ) 第2ラウンドは、第1ラウンドで使用していない基本形、もしくは第1指定形とする。

(エ) 第3ラウンド(決勝ラウンド)は、第1指定形、第2指定形、基本形から選択し第1ラウンド、第2ラウンドで使用した形を繰り返してもよい。

(オ) コートへの入場は決勝ラウンドを除き、時間短縮のため直接形開始位置へ進み演武する。

3) 組手競技 個人戦

(ア) トーナメント方式で行い3位決定戦は行わない。

(イ) 決勝戦は各コートにおいて競技する。

(ウ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。

(エ) 勝負は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技時間終了時に先取点が無い場合は、「判定」により勝敗を決する。

(オ) 12歳以下(カデットルール)を適用する。

4) 組手安全具

(ア) 組手全種目に拳サポーター(全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター)、全空連検定メンホー(VIもしくはVII)及びボディプロテクター、全空連検定小学生用インステップガード及びシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。

マウスシールド着用は任意とし、使用する場合はミズノ製とする。

(イ) 小学3～6年生男子組手出場選手は、必ずファールカップを着装すること。

但し、1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。

(ウ) 安全具着装のない選手は出場できない。

5) 服 装

(ア) 監督・コーチは半袖・ネクタイ着用し必ず靴を履くこと。

※審判員との区別を明確にするため、審判員と異なるネクタイを着用すること。

監督・コーチ用IDカードを着用すること。

(イ) 選手は、競技規定にそった清潔な白の空手衣を着用すること。なお、左胸に県名を入れること。

※ 過去の全国少年少女大会のエンブレムその他これらに類するものは全て外すこと。(道着その他の点検については召集時に行う)

(ウ) 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。

(エ) 青帯・赤帯は各自全空連で検定された帯を用意し着用すること。主催者では用意しない。

11. 表 彰

1) 九州地区協議会議長賞の授与

総合得点の最上位の県に対し、九地協議長賞及び賞状を授与する。得点及び順位決定は次による。

(ア) 国体方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

形 : ・1位 8点 ・2位 7点 ・3位 6点 ・4位 5点 ・5位 4点
・6位 3点 ・7位 2点 ・8位 1点

組手 : ・1位 8点 ・2位 7点 ・3位 5点(2名) ・5位 2.5点(4名)

(イ) 総合得点が同点の場合は、優勝者数の多い県に授与する。

(ウ) さらに同数の場合は全てを同点優勝とする。

2) 組手、形ベスト8進出選手を次のとおり表彰する。

形 : 優勝～8位まで各1名

組手 : 優勝1名・準優勝1名・第3位2名・第5位4名 **※対象となる選手は必ず表彰式に参加すること。**

12. 審 判 員

大会審判団は公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。

各県は公認地区組手・形審判員(原則)以上の**審判員6名を派遣**すること。

13. 安全対策

出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を行うが、その後は個人の責任において、処理すること。また、出場選手は健康保険証を持参し、スポーツ安全保険に加入しておくこと。

14. 出場資格

- 1) 出場選手、監督及びコーチは、公益財団法人全日本空手道連盟会員であること。
- 2) 出場選手は公益財団法人全日本空手道連盟公認段・級位取得者であること。
- 3) 出場選手は、各県空手道連盟が選出した代表選手であること。
- 4) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、及び地区公認審判員以上の資格を有する者であること。

15. 出場申込

- 1) 出場費 組手・形 1種目 1人 4,000円
- 2) **申込み方法は別途定める。(後日連絡・オンラインを予定)**
- 3) 出場費送金先(口座)は次のとおり

【参加費振込先】

琉球銀行 本店営業部支店(201) 普通口座 1191574
沖縄県空手道連盟 会計長 長嶺守栄

16. 申込期限 **令和7年10月3日(金) 必着 【期日厳守】**

17. 宿泊等

- 1) 宿泊・交通費は自己負担とする。
- 2) **宿泊・弁当は主催者の指定する下記旅行会社を通して予約すること。**

宿泊をされる方は必ずご利用をお願いします。

別紙【宿泊・弁当申込書】に必要事項(後日送付)を記載のうえ直接、にお申し込み下さい。

【申し込み・問合せ先】

株式会社 TEAM 本社配宿管理センター [TEL:096-237-6763](tel:096-237-6763) FAX:096-237-6764
e-mail: yoyaku@k-team.jp

18. その他

- 1) ゼッケンは主管県で作成し、**10月下旬**ごろまでに各県連宛てに送付するので、各県連において査収のうえ、出場選手に配布のこと。なお、種目、男女別のゼッケン色分けは次のとおり。

	男子	女子
形(個人)	緑	青
組手(個人)	黒	赤

- 2) 出場申込書提出後の選手変更は認められない。(監督・コーチの変更も不可)
- 3) 練習会場の利用・入室は監督・コーチ・選手のみとする。
- 4) 参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ円滑な大会運営、事故防止に協力すること。
- 5) 大会会場には十分な駐車場がありますが、バス(マイクロ・大型など)の駐車を希望する方は、事前に調査用紙にてお申し出ください。

11. 肖像権の取り扱いについて

- 1) 競技者及び指導者は、本大会への参加申込により、今大会の肖像権取扱いを承諾したものとします。
- 2) 実行委員会及び会場地市町実行委員会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞、雑誌、報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。

- 3) 実行委員会及び会場地市町実行委員会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継、録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、DVD等に編集され、配付されることがあります。
- 4) その他、実行委員会等に許可を受けた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがあります。

【全少選抜選手選考等についての申し合せ】

個人形・組手・・・九州地区6名

団体形・組手・・・九州地区8チーム

① 個人組手における選抜選手

ベスト8の選手の内1位～3位の4名と準々決勝で優勝者に負けた選手を5番目、準優勝者に負けた選手を6番目とし上位6名を選抜選手とする。

※繰り下げになった場合、残り2名での抽選とする。

② 形における選抜選手の優先順位

決勝ラウンド1～6位の6名を選抜選手とする。

繰り下げになった場合、決勝ラウンド7位・8位の選手の順で選抜する。

【総合得点計算】

全少入賞者枠、開催県枠による参加人数の差を解消するため以下の計算方法とする。

○申込時の各県の全少枠を優先とし1位～4位の選手を計算対象とする。また、

(例)：全少枠1名、県1位～4位の申し込みの場合、4位の選手を計算対象外とする。

※仮に4位の選手が入賞、それ以外の選手が入賞できなかった場合は総合得点に算入しない。

【シード】

シードは、その年の全少入賞者を第1シードとし、各県選抜の1位同士が当たらないように作成。